

令和4年度  
第1回苫小牧市男女平等参画審議会

# 男女平等参画に関する 意識調査（市民・若年層） 企業実態調査結果について

令和4年7月14日（木）  
14:00～16:00  
市民活動センター4階講習室A

# 男女平等参画に関する意識調査の実施について

「苫小牧市男女平等参画基本計画（第3次）」（計画期間：平成30年度～令和9年度）について、より時代に即した計画にするため、中間年度にあたる令和4年度に見直しを行います。この基礎資料とするため、令和4年1～3月に各意識調査及び実態調査を実施しました。

## ①市民意識（若年層）

調査対象：一部の小学校5年生、中学2年生、高校2年生、高等専門学校2年生、大学2年生

回答率：84.5%（1,390人/1,644人）

## ②市民意識

調査対象：20歳以上の市内に居住する市民（年代、性別、居住地を考慮して調査）

回答率：30.7%（614人/2,000人）

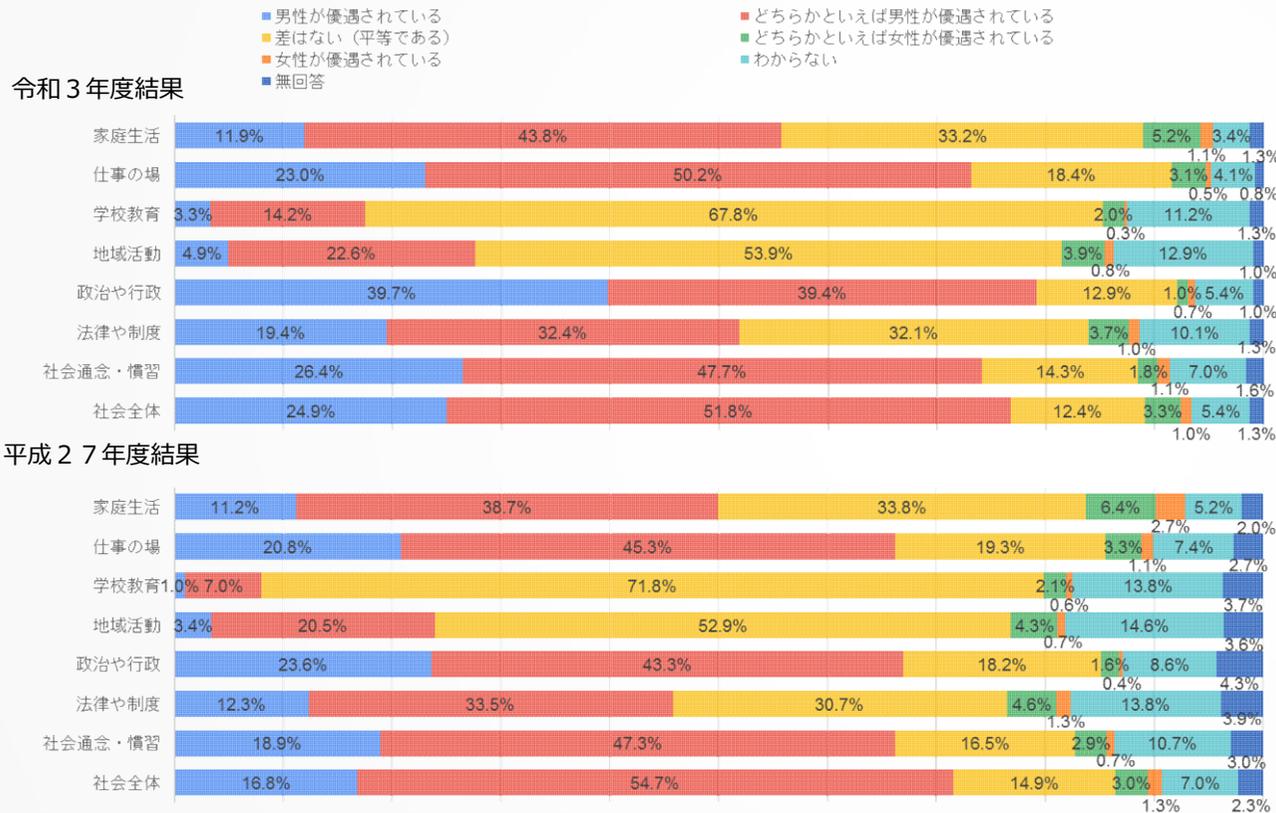
## ③企業実態調査

調査対象：従業員がおおむね5人以上の市内の事業所 1,200事業所

回答率：34.8%（418事業所/1,200事業所）

# 男女の地位などの平等感

(男女平等参画に関する市民意識調査から)



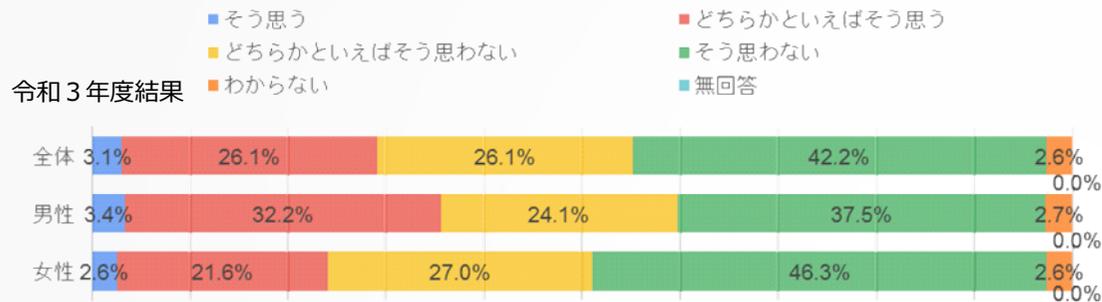
差はない (平等である) と答えた人の割合  
平成 27年度結果→令和 3年度結果

- ・家庭生活 33.8%→33.2% (-0.6ポイント)
- ・仕事の間 19.3%→18.4% (-0.9ポイント)
- ・学校教育 71.8%→67.8% (-4.0ポイント)
- ・地域活動 52.9%→53.9% (+1.0ポイント)
- ・政治や行政 18.2%→12.9% (-5.3ポイント)
- ・法律や制度 30.7%→32.1% (+1.4ポイント)
- ・社会通念・慣習 16.5%→14.3% (-2.2ポイント)
- ・社会全体 14.9%→12.4% (-2.5ポイント)

全体的に平等であると答えた方が前回調査よりも少なくなっていますが、これは男女平等参画に関する考え方が浸透してきており、男女が平等ではないことの気づく方が増えたのではないかと推察されます。

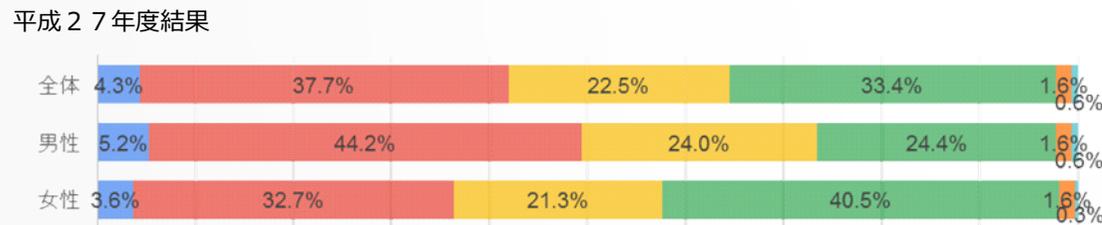
# 役割分担意識「男は仕事、女は家庭」の考え方について

(男女平等参画に関する市民意識調査から)



「そう思わない」と答えた人の割合  
平成27年度結果→令和3年度結果

- ・**全体 +8.8ポイント**
- ・**男性 +13.1ポイント**
- ・**女性 +5.8ポイント**

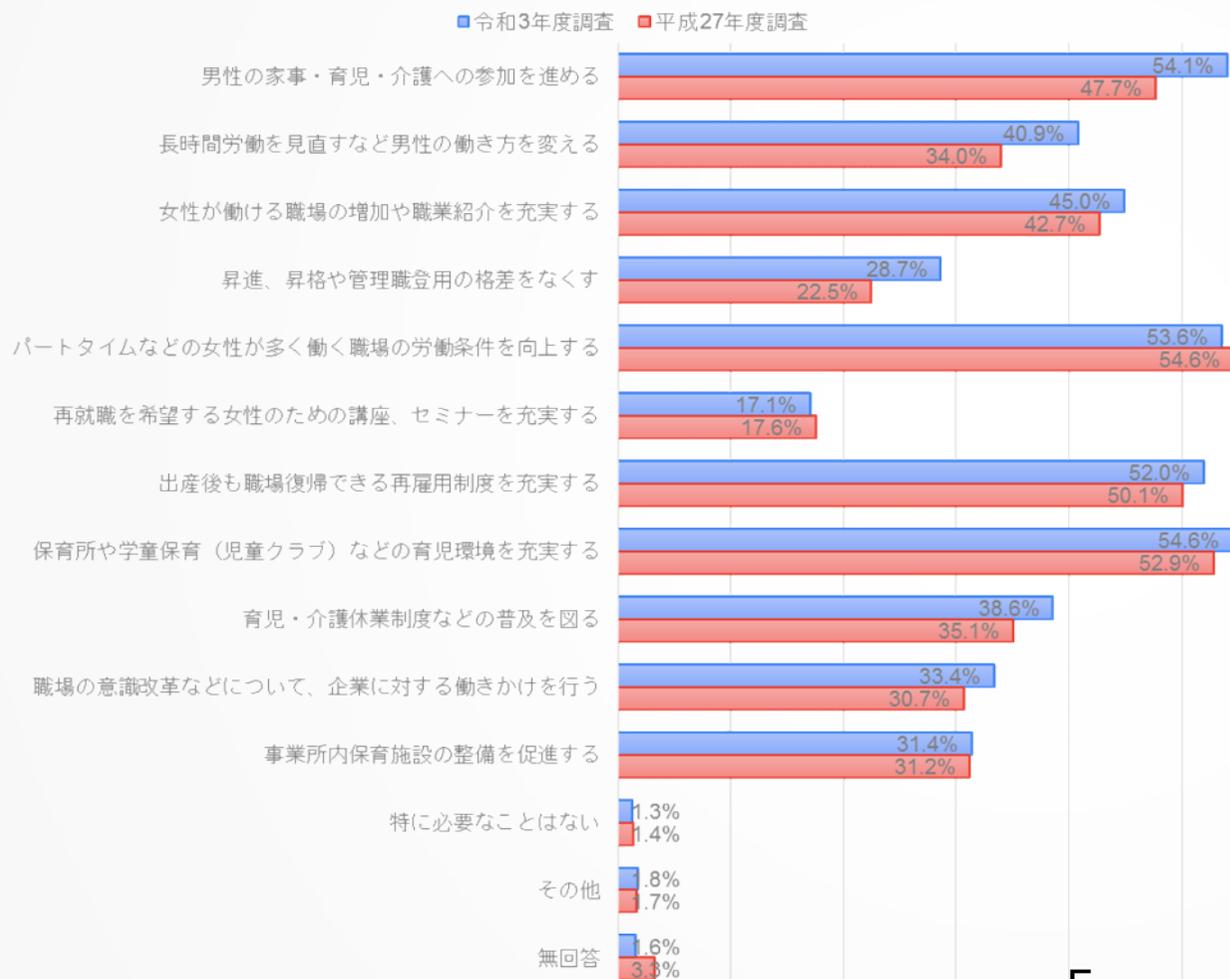


**「そう思わない」と回答した方は全体で+8.8ポイントと性別による役割分担意識は改善されつつあります。**

**特に男性が13.1ポイントと大きく改善されています。**

# 女性が働きやすい環境をつくるためにはどのようなことが必要だと思うか

(男女平等参画に関する市民意識調査から)



**女性が働きやすい環境をつくるためにはどのようなことが必要だと思うかについて、令和3年度調査と平成27年度調査をみると**

**「男性の家事・育児・介護への参加を進める」  
(47.7%→54.1% +6.4ポイント)**

**「長時間労働を見直すなど男性の働き方を変える」  
(34.0%→40.9% +6.9ポイント)**

**と男性の家事・育児・介護等への参加を求める意見が特に増えています。**

**また、前回調査に引き続き**

**「保育所や学童保育（児童クラブ）などの育児環境を充実する」 54.6%**

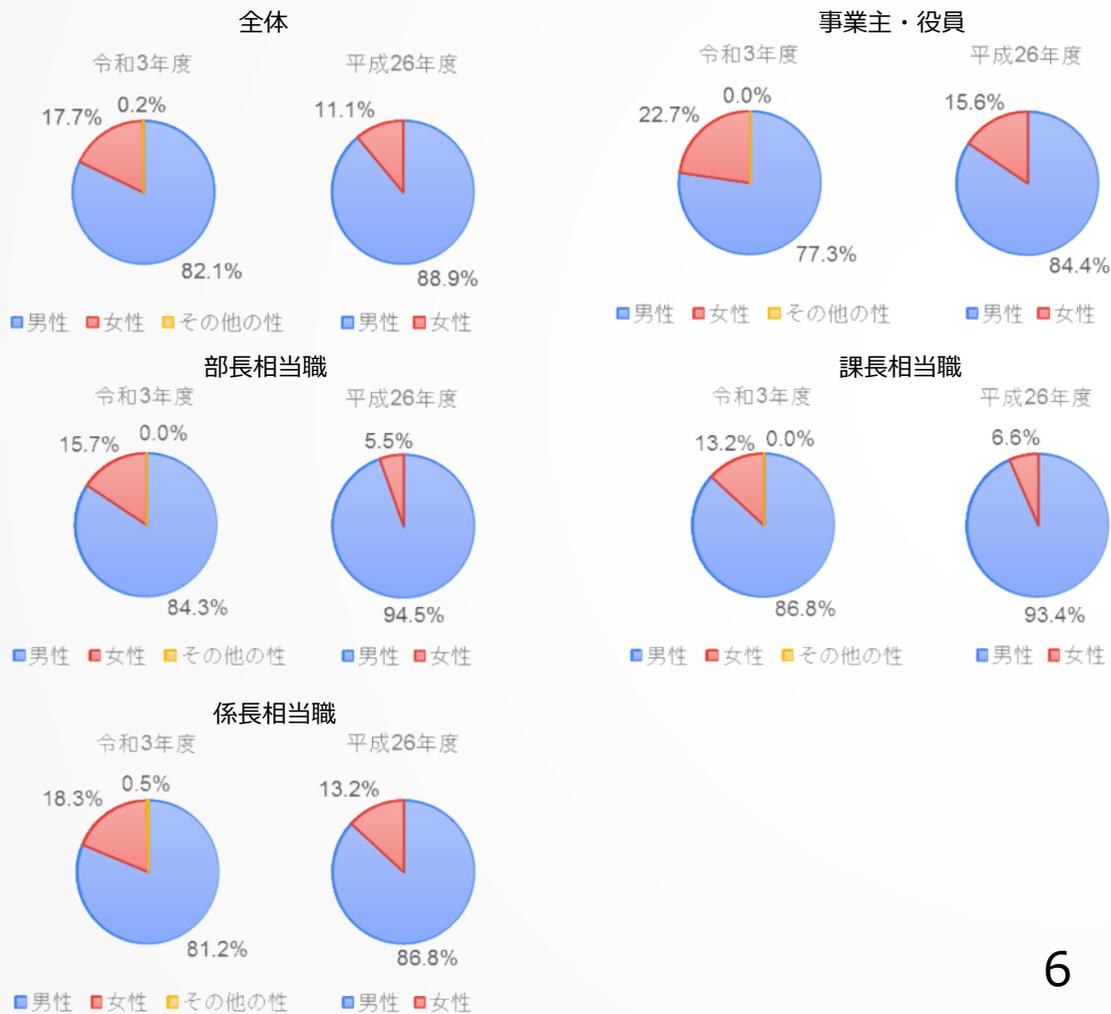
**「パートタイムなどの女性の多く働く職場の労働条件を向上する」 53.6%**

**「出産後も職場復帰できる再雇用制度を充実する」 52.0%**

**の割合が高くなっています。**

# 苫小牧市の企業における役職別の男女割合

(男女平等参画に関する企業実態調査から)



**女性の係長相当職以上の割合が平成26年度調査から令和3年度調査にかけて増えています。**

「全体」

(11.1%→17.7% +6.6ポイント)

「事業主・役員」

(15.6%→22.7% +7.1ポイント)

「部長相当職」

(5.5%→15.7% +10.2ポイント)

「課長相当職」

(6.6%→13.2% +6.6ポイント)

「係長相当職」

(13.2%→18.3% +5.1ポイント)

# 各種数値目標について

(男女平等参画に関する若年層意識調査、男女平等参画に関する市民意識調査、企業実態調査から)

基本目標	項目	前回調査時	今回調査	増減	R4目標
Ⅰ 男女平等参画の意識改革	男女平等参画に関する市民意識調査で「社会全体で男女の地位などに差はない」と感じている人の割合	14.9% (H27年度調査)	12.4%	-2.5ポイント	25.0% (目標比-12.6ポイント)
	男女平等参画に関する市民意識調査で「苫小牧市男女平等参画都市宣言」を見聞きしたことがある市民の割合	40.0% (H27年度調査)	54.2%	+14.2ポイント	70.0% (目標比-15.8ポイント)
Ⅱ 配偶者等からの暴力の根絶	男女平等参画に関する市民意識調査(中学生)で「デートDV」を「知っている」と答えた人の割合	23.3% (H28年度調査)	54.5%	+31.2ポイント	70.0% (目標比-15.5ポイント)
	男女平等参画に関する市民意識調査(高校生以上)で「デートDV」を「知っている」と答えた人の割合	54.2% (H28年度調査)	77.6%	+23.4ポイント	70.0% (目標達成)
Ⅲ あらゆる分野への男女平等参画の推進	男女平等参画に関する企業実態調査で「ワーク・ライフ・バランス」を理解している事業所の割合	38.8% (H26年度調査)	51.6%	+12.8ポイント	50.0% (目標達成)

# 男女平等参画に関する若年層意識調査結果の主な内容について①

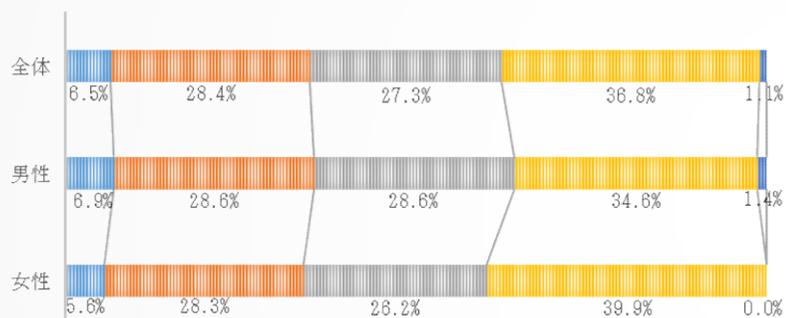
(男女平等参画に関する若年層意識調査から)

あなたは、大人の人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」のように言われたことがありますか。

(小学生・中学生のみの設問)

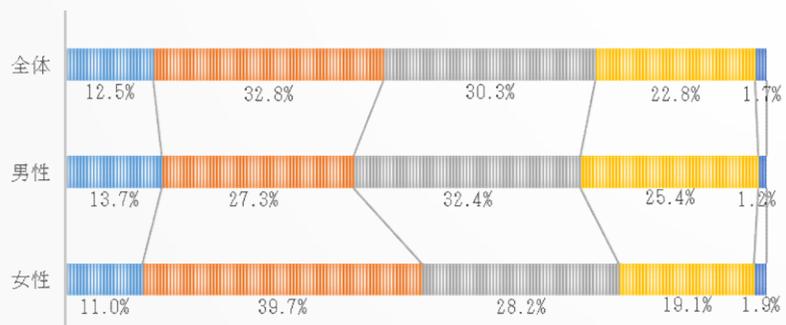
- よく言われる (言われた)
- ときどき言われる (言われた)
- あまり言われない (言われなかった)
- まったく言われない (言われなかった)
- 無回答

小学生回答



- よく言われる (言われた)
- ときどき言われる (言われた)
- あまり言われない (言われなかった)
- まったく言われない (言われなかった)
- 無回答

中学生回答



「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と「よく言われる (言われた)」、「ときどき言われる (言われた)」割合は

小学生全体 : 34.9%

中学生全体 : 45.3%

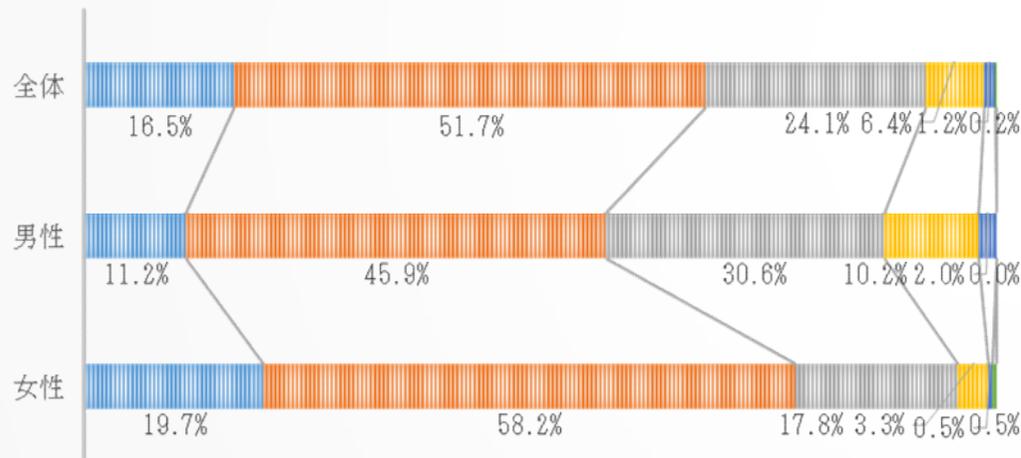
と未だに全体の1/3以上が性別の固定的役割分担意識を意識させられています。

## 男女平等参画に関する若年層意識調査結果の主な内容について②

(男女平等参画に関する若年層意識調査から)

社会全体の中で男性と女性の地位は平等になっていると思いますか。  
(高校生、高等専門学校生、大学生のみの設問)

- 男性のほうが優遇されている
- 平等
- 女性のほうが優遇されている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- 無回答



社会全体の中で「男性のほうが優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した割合は

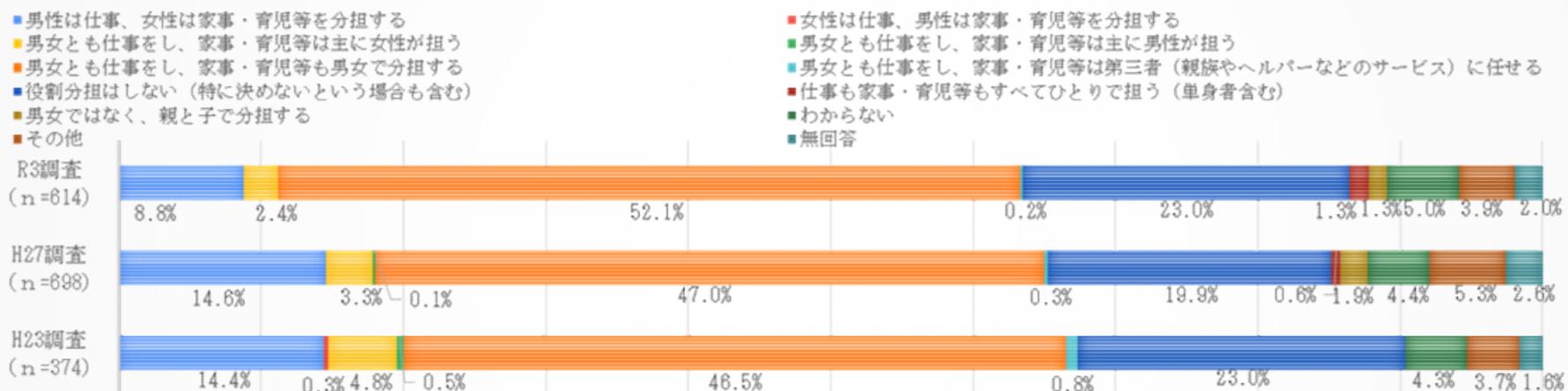
高校生、高等専門学校生、大学生全体：68.2%

全体の7割近くが、社会全体で男性のほうが優遇されていると感じています。

# 男女平等参画に関する意識調査結果の主な内容について①

(男女平等参画に関する意識調査から)

家庭での役割分担について、あなたはどうかあるべきだと思いますか。



家庭での役割分担について「男女とも仕事をし、家事育児等も男女で分担する」と回答した割合は

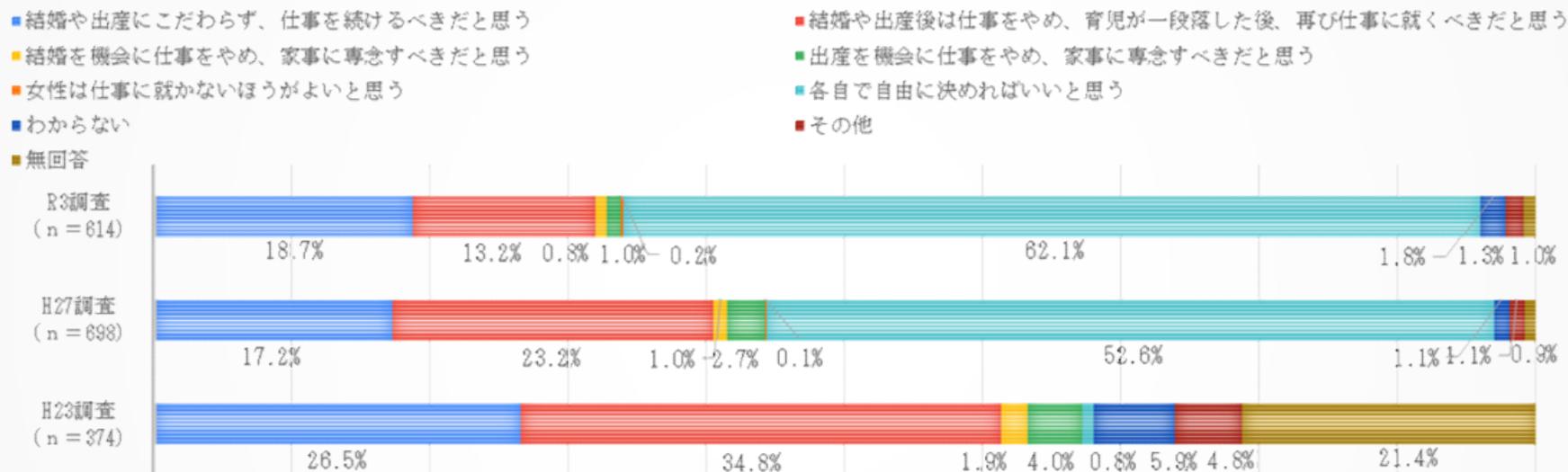
令和3年度調査：52.1%

全体の半分以上が、仕事も家事育児等も男女で分担するべきと感じており、過去の調査と比較しても割合が増えています。

## 男女平等参画に関する意識調査結果の主な内容について②

(男女平等参画に関する意識調査から)

あなたは、女性の仕事と家庭の関わりについて、どうあるべきだと思いますか。



女性の仕事と家庭の関わりについて「各自で自由に決めればよいと思う」と回答した割合は

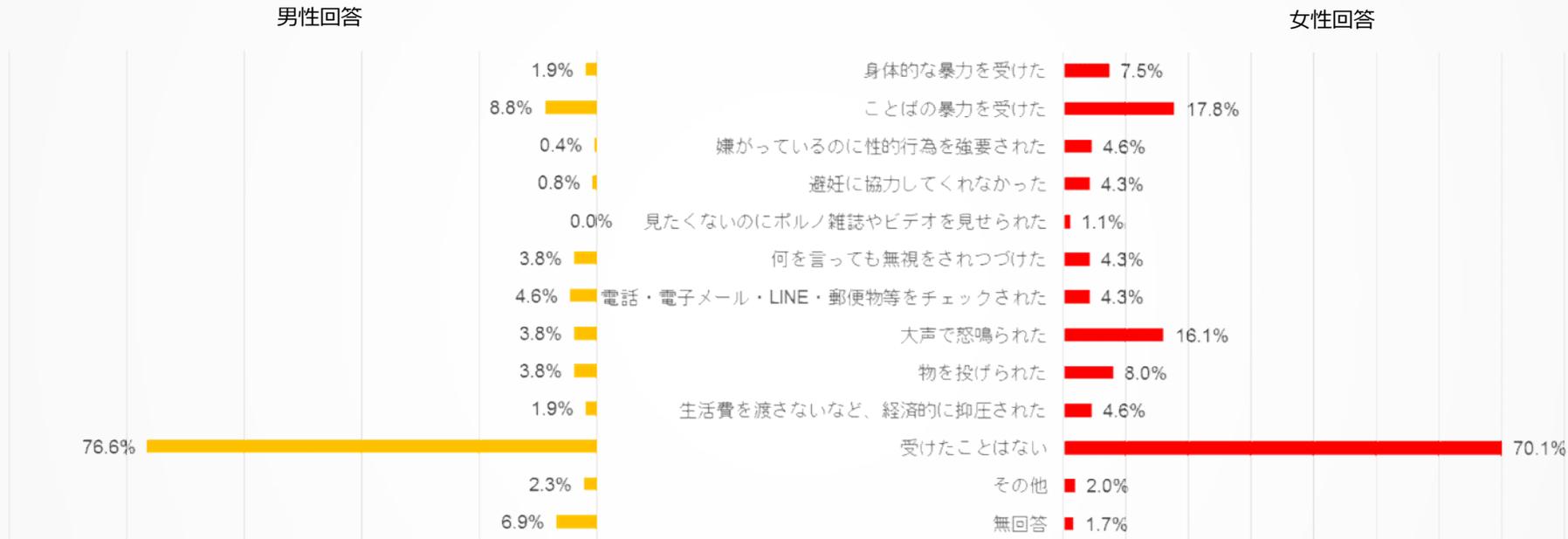
平成23年度調査：0.8%→平成27年度調査：52.6%→令和3年度調査：62.1%

調査を行うごとに回答割合が高くなっており、男女平等参画に関する意識が高まっています。

## 男女平等参画に関する意識調査結果の主な内容について③

(男女平等参画に関する意識調査から)

あなたはこれまで配偶者（事実婚や離別・死別を含む）や恋人などのパートナーから暴力等を受けたことはありますか。



配偶者や恋人などのパートナーから暴力を受けたことはありますかに対して「受けたことはない」と回答した割合は

男性：76.6% 女性：70.1%で

男性の約4人に1人、女性の約10人に3人は何らかの暴力を受けたことがある可能性があります。

## 男女平等参画に関する意識調査結果の主な内容について④

(男女平等参画に関する意識調査から)

次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものとどれですか。

見聞きしたことがある割合

※「見聞きしたことがあり、意味も知っている」「見聞きしたことはあるが、意味は知らない」「何となく見聞きしたことがある」と回答した割合。

	平成27年度回答割合	令和3年度回答割合	増減
男女平等（共同）参画社会	71.3%	83.3%	+12.0ポイント
苫小牧市男女平等参画都市宣言	40.0%	54.2%	+14.2ポイント
ジェンダー	30.3%	85.9%	+55.6ポイント
ワークライフバランス	30.9%	62.5%	+31.6ポイント
デートDV	49.9%	64.2%	+14.3ポイント
ダイバーシティ	27.1%	59.9%	+32.8ポイント
LGBT	18.6%	74.2%	+55.6ポイント

それぞれの言葉について、軒並み見聞きしたことがある割合は上昇しています。

特にジェンダー、LGBTについて見聞きしたことがある割合が上昇しています。

# 男女平等参画に関する企業実態調査結果の主な内容について①

(男女平等参画に関する企業実態調査から)

日本の女性の管理的職業従事者が男性の管理的職業従事者よりもかなり少ないのは、どのような理由ですか。



**日本の女性の管理的職業従事者が男性の管理的職業従事者よりもかなり少ないのは**

・女性本人が希望しない **17.6%**

・勤続年数が短く、管理職になるまでに退職する **14.3%**

・必要な知識や経験、判断力等を有する女性がいらない **13.6%**

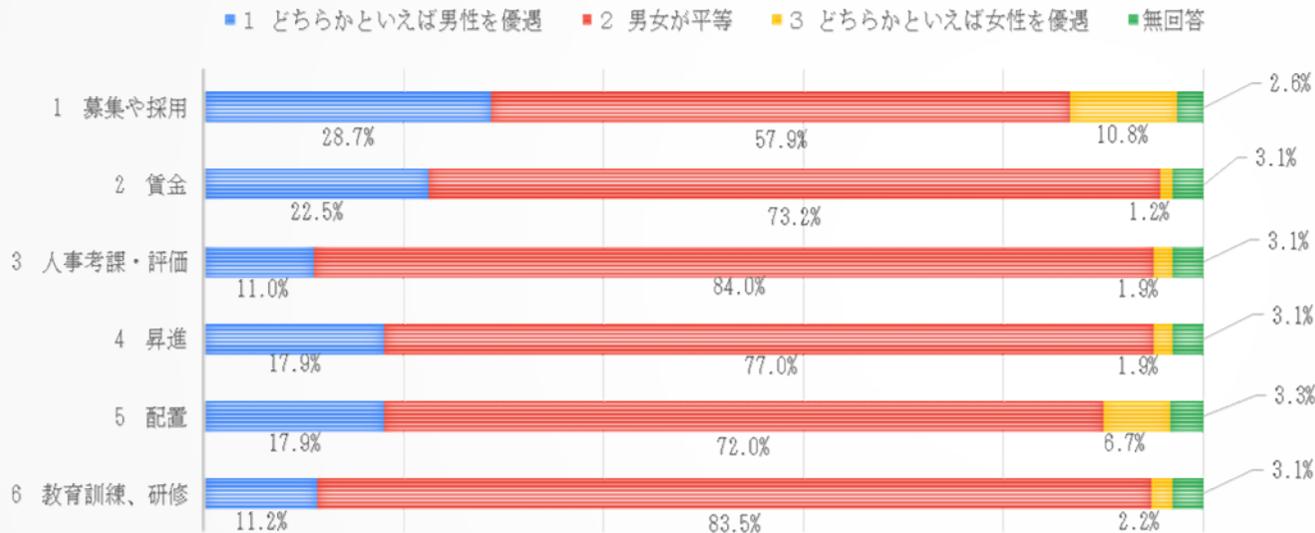
・家庭の事情があるので責任のある仕事に就けられない **12.8%**

**となっており、女性の性別の固定的役割分担意識に起因するところが大きい傾向にあります。**

# 男女平等参画に関する企業実態調査結果の主な内容について②

(男女平等参画に関する企業実態調査から)

事業所の現状について。



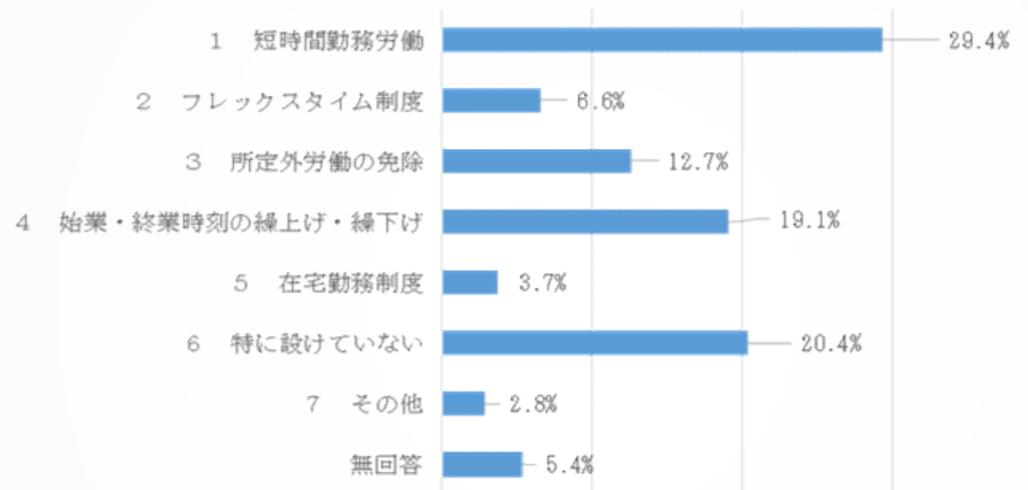
## 事業所に現状について

各項目において「男女が平等」と答えている割合が一番高いものの、男性を優遇している事業者が女性を優遇している会社よりも圧倒的に多くなっています。

## 男女平等参画に関する企業実態調査結果の主な内容について③

(男女平等参画に関する企業実態調査から)

育児や介護を行う従業員を支援するための制度は。



### 育児や介護を行う従業員を支援するための制度について

短時間勤務労働を導入している事業所が一番多く29.4%となっています。一方で特に設けていないと回答した事業所は20.4%ですが、この数値は平成26年度調査の51.5%と比較すると少なくなっており、

育児や介護を行う従業員を支援するための制度を導入する事業所が多くなってきています。

## 男女平等参画に関する企業実態調査結果の主な内容について④

(男女平等参画に関する企業実態調査から)

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を知っていますか

	平成26年度調査	令和3年度調査	増減
良く理解している	10.6%	14.8%	+4.2ポイント
だいたい理解している	28.2%	36.8%	+8.6ポイント
合計	38.8%	51.6%	+12.8ポイント

### ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

平成26年度調査よりも「よく理解している」「だいたい理解している」と回答した方の割合が上がっており、令和3年度調査では半数を超える事業所でワーク・ライフ・バランスの理解が進んでいます。

## 男女平等参画に関する意識調査・企業実態調査についてのまとめ①

### 男女の平等感について

- ・ 前回調査よりも男女の平等感について「平等である」と回答した方が減少傾向（資料 3ページ）
  - ・ 社会全体や企業で「男性の方が優遇されている」という回答が多くなっている（資料 7ページ、9ページ、15ページ）
- 男女が平等でないと気づいている方が多くなっている傾向にあります。

### 男女の性別による固定的役割分担意識について

- ・ 「男は仕事、女は家庭」という考え方に「そう思わない」と回答した割合が増えている（資料 4ページ）
  - ・ 女性が働きやすい環境をつくるには、「男性の家事・育児・介護への参加」を進めることや「長時間労働の是正」を求める声が多くなっている（資料 5ページ）
  - ・ 家庭での役割分担について、「男女とも仕事をし、家事育児等も男女で分担する」と回答した割合多くなっている（資料 10ページ）
  - ・ 女性の仕事と家庭の関わりについて「各自で自由に決めればいいと思う」と回答した割合が伸びている（資料 11ページ）
- 「男は仕事、女は家庭」という役割分担意識は改善されつつあります。

- ・ 小中学生の調査で「男だから〇〇しなさい」、「女だから〇〇しなさい」と言われる割合が1/3を超えている（資料 8ページ）
  - ・ 女性の管理的職業従事者が少ない理由では「家庭の事情があるので責任のある仕事に就けられない」、「女性の勤務年数が短い」などといった理由が挙げられている（資料 14ページ）
- 子どもに対してと企業内における性別による固定的役割分担意識はまだ残っていることが推察されます。

## 男女平等参画に関する意識調査・企業実態調査についてのまとめ②

### 企業における女性活躍について

・企業における女性の「係長相当職」、「課長相当職」、「部長相当職」、「事業主・役員」は前回調査よりも5~10ポイント程度上昇しているものの、いずれの役職も女性の割合は13.2~22.7%と、いまだに男性が多くなっている（資料 15ページ）

→企業における女性の管理職等への登用はまだ、完全に進んでいません。

### 男女平等参画のへの意識について

・「デートDV」を「知っている」と回答した中学生・高校生以上の割合、「ワーク・ライフ・バランス」を理解していると回答した事業所の割合が前回調査よりも高くなっている（資料 7ページ）

・「ジェンダー」、「LGBT」などの男女平等参画に関する言葉を見聞きしたことのあると回答した割合が高くなっている（資料 13ページ）

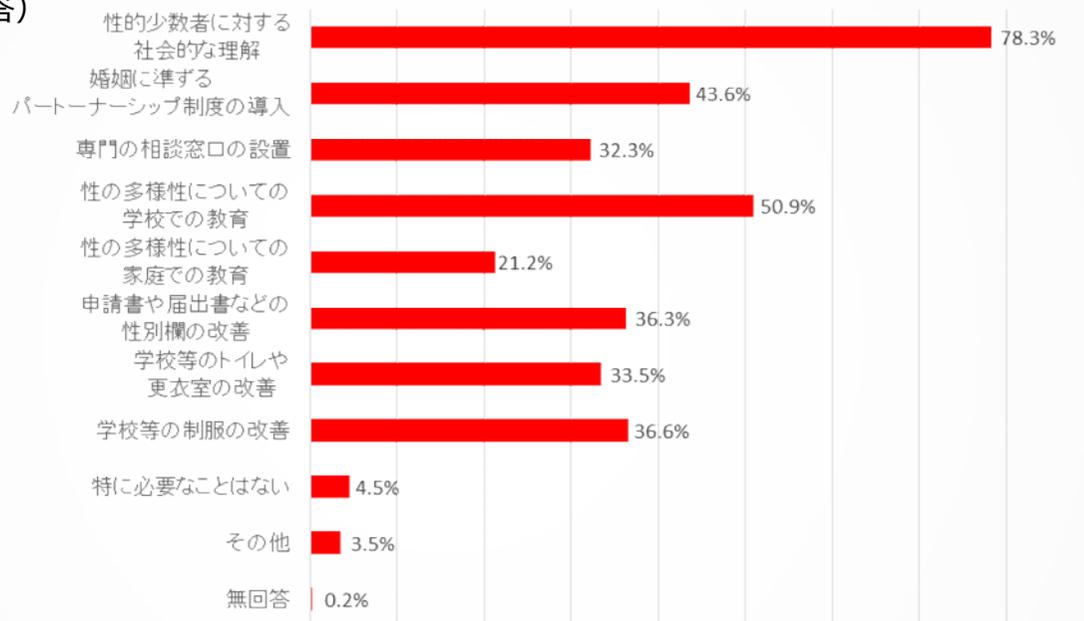
→男女平等参画に関する意識の高まりが感じられます。

# セクシャルマイノリティ（性的少数者）について①

（男女平等参画に関する若年層意識調査から）

セクシャルマイノリティ（性的少数者）の生きづらさを解決するためには何が必要だと思いますか。

（高校生、高等専門学校生、大学生の回答）



## セクシャルマイノリティ（性的少数者）の生きづらさの解決方法について

性的少数者に対する社会的な理解 78.3%

性の多様性についての学校での教育 50.9%

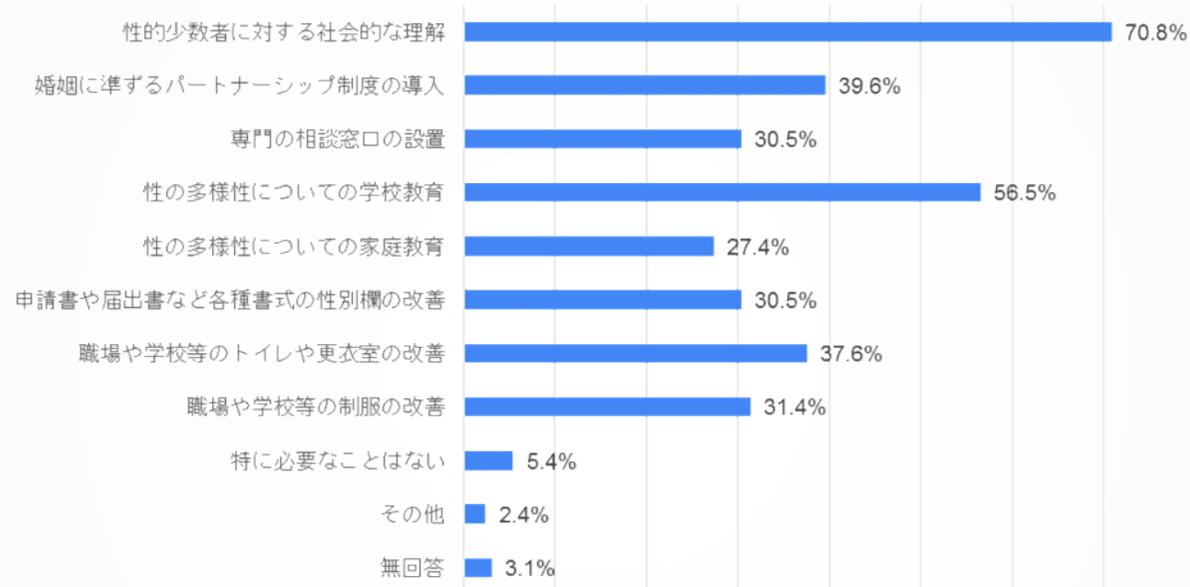
婚姻に準ずるパートナーシップ制度の導入 43.6%

## セクシャルマイノリティ（性的少数者）について②

（男女平等参画に市民意識調査から）

セクシャルマイノリティ（性的少数者）の生きづらさを解決するためには何が必要だと思いますか。

（市民意識調査での回答）



### セクシャルマイノリティ（性的少数者）の生きづらさの解決方法について

①性的少数者に対する社会的な理解 70.8% ②性の多様性についての学校での教育 56.5%

③婚姻に準ずるパートナーシップ制度の導入 39.6%

婚姻に準ずるパートナーシップ制度を導入することにより、性的少数者に対する社会的な理解が進むと考えられるため、パートナーシップ制度の導入準備を行ってまいります